

2025年度 日本道路株式会社 入社式 社長挨拶

2025年4月1日

代表取締役社長 石井敏行



皆さん、入社おめでとうございます。

本日こうして61名の皆さんを我々の仲間として迎えることができ、大変嬉しく思います。

当社の一員となった皆さんへのメッセージとして、まず当社を取り巻く道路建設業界の状況をお話します。

国交省が打ち出した国土強靱化対策というものがあります。これは、地震や台風による災害の多い我が国におけるリスクマネジメントであり、この中で大きなウエートを占める事業が、既存インフラの整備です。これは、当社が誇る技術力やノウハウの活用が大いに期待される分野であり、当社が社会に果たす役割は、ますます重要で大きなものとなっています。

皆さんには、既存インフラ整備を通じて多くのことを学んでいただき、立派に育ててほしいと願っています。

これから「土浦テクノ BASE」での研修が始まります。研修を通じて、社会人としてのマナーや基本的なスキルの習得はもとより、先輩や同期社員との良好な人間関係の構築に努め、皆さん自身の「人間力」をぜひ磨いてください。

「人間力」を向上させるために、社会人として大切なことは、まず第一に、皆さん自身の健康です。体調がすぐれないと良い仕事はできません。日頃から食事や睡眠などに気を配り、自身の健康管理を徹底してください。

次に、コミュニケーション能力を高めることです。自分一人で完結する仕事はありません。社内の上司や同僚だけでなく、得意先や協力会社など社外の方々とも関わりながら仕事を進めることとなります。そこで必要なことは、皆さん自身が積極的にコミュニケーションをとること、さらに報告・連絡・相談、いわゆる報連相を徹底させることです。まずは元気な挨拶を心掛けてください。

さらに大切なことは、感謝の気持ちを忘れないことです。今日は皆さんにとって特別な日です。これまで支えていただいたご家族をはじめ、皆さんの成長に関わった多くの方々のことを改めて思い返してください。また、これからも皆さんを支えてくれる多くの方々に巡り会うことでしょう。人間として成長するためにも、ぜひ感謝の気持ちを持ち続けてください。

次に、当社グループの企業経営の根幹となる基本方針であり、社員の精神的な拠りどころである「社是」というものがありますので、これについて説明します。「創意研鑽・協調親和・信用高揚」という三つの言葉で、六つの熟語で構成されています。わかりやすく言いますと、

- ・創意とは、「従前にとらわれない新しい発想」
- ・研鑽とは、「勉強すること」
- ・協調とは、「協力しあうこと」
- ・親和とは、「仲良くなること」
- ・信用とは、「信頼されること」
- ・高揚とは、「精神や気分を高めること」

それぞれが重要なキーワードです。これから業務を遂行する様々な場面で「社是」の意味を噛みしめてください。

また、当社の親会社である清水建設には、「論語と算盤」という社是があります。道理にかなった企業活動により社会に貢献することで、結果として社業の発展につながるという考えです。こちらも今後、何度も学んでもらいますので、しっかり心に刻んでください。

今日から皆さんは、日本道路という大きな看板とともに責任というものを背負うこととなります。コンプライアンスの徹底については、今後何度も繰り返し教育していきます。業務中だけでなく、プライベートにおいても、日本道路グループの、また、シミズグループの一員であることを決して忘れず、プライドと自覚をもって行動するようにしてください。

さて、4年後の2029年に当社は、100周年を迎えます。次の100年につなげていくためにも、皆さんには、ぜひ、仕事を・会社を好きになってほしいと思います。我々の仕事はSDGsへの貢献に直接結びつく仕事です。常に誇りを持って業務にあたり、たくさんの「やりがい」を見出してください。

結びになりますが、これからの会社人生の中で、色々なことがあると思いますが、どんな環境の変化にも柔軟に対応する「しなやかさ」を、ぜひ身につけてください。どんな逆風にも決して逃げずに乗り越えることで、皆さんがより大きく成長することを願っています。

今後の皆さんの活躍を祈念し、歓迎の挨拶いたします。

以上